



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料	平成26年1月28日
配布日	

資料提供先：岡山県政記者会
岡山市記者クラブ

百間川河口水門増築部の巨大ゲートが 海とつながりはじめました。

百間川河口水門は日々の干満により発生する海水の遡上を防止するとともに、洪水時に旭川から分派する水を安全に吐き出す目的をもっています。

昭和42年に建設された現在の水門（L=120m）だけでは洪水時に吐き出せる水量が少ないため、東側に新しい水門（L=100m）を増築する工事を進めております。

このたび、陸上での古い防潮堤防の撤去や、川底が掘れることを防止する護床工が概ね完了しました。

そのため、これまで海側に設置していた仮締切矢板の撤去に着手し、新しい水門のライジングセクターゲートが児島湾とつながりはじめましたのでお知らせします。

なお、仮締切矢板の撤去工事は3月上旬まで実施する予定です。

【注意事項】

- ・報道機関の皆さまについては、事前にご連絡いただけましたら、工事現場内をご案内いたします。（現地取材は合同でお願いする場合がございます。）
- ・安全確保が難しいため、現在のところ一般見学の予定はございません。



中国地方整備局
広報キャラクター

なかつくに まもる
中津國 護

くになか えいこ
國中 映子



問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所
電話 086-223-5184（工務課）

【担当】

副所長（改築） 笹岡 総一（内線204）
工務課長 大塚 尚志（内線311）



事務所HP



現在の状況(平成26年1月27日撮影)
※水位調整のためポンプで海水を少しずつ入れてましたが、矢板を引抜き始めましたので、満潮時には捨て石の隙間から海水が入るようになりました。



以前の状況(平成26年1月21日撮影)



施工状況: クレーン付き台船を使用して仮締切矢板を抜いてます。